

比較対照：Cisco IP MPP PhoneおよびCisco Unified IP Phone

目的

この記事では、中小規模企業向けのCisco Multi-platform Phones(MPP)と、大企業のCisco Unified IP Phoneの類似点と相違点について説明します。あるタイプから別のタイプへの一回限りの変換に興味がある場合は、[クラウドアップグレーダにアクセス](#)。

Cisco IP MPP Phone

Cisco Multiplatform Phone(MPP)は、Session Initiation Protocol(SIP)を使用してVoice over Internet Protocol(VoIP)通信を提供します。SIPは、リアルタイムセッションを開始、維持、および終了する、最も頻繁に使用されるシグナリングプロトコルです。これらのセッションには、音声、ビデオ、およびメッセージングアプリケーションが含まれます。これにより、従来の電話回線が不要になり、社内での電話機の携帯性が向上します。VoIPを使用すると、電話機はコストのかかるT1電話回線ではなく、既存のネットワークインフラストラクチャとインターネット接続を使用します。これにより、より少ない「回線」でより多くのコールを管理できます。その他の有益なオプションには、コールの保留、コールの保留、コールの転送などがあります。一部のモデルでは、VoIPに加えてビデオ通信が可能です。

MPP電話は通常の電話のように設計されており、その目的のためだけに使用されますが、基本的にはコンピュータであり、ネットワークの一部です。MPP電話機には、インターネットテレフォニーサービスプロバイダー(ITSP)またはIP構内交換機(PBX)コール制御サーバからのサービスが必要です。WebEx Calling、Ring Central、およびVerizonはITSPの例です。Cisco MPP電話機で動作するIP PBXサービスの例には、Asterisk、Centile、およびMetaswitchプラットフォームがあります。

Cisco Unified IP Phone

Cisco Unified IP Phoneは、エンタープライズファームウェア上で動作し、MPP電話と同様にユニファイドコミュニケーションも提供します。電話機のシリーズに同じ番号が付いています。ただし、これらの電話機は、内部コールマネージャであるCisco Unified Communications Manager(CUCM)でのみ使用することを目的としています。CUCMを購入するのは、大企業の大企業だけです。これは、中小企業のコストが高いためです。

CUCMで使用する電話機は、外部ITSPまたはIP PBXに登録できません。これらは内部CUCMとだけ対話するように構築されています。同様に、MPP電話機はCUCMでは使用できません。

注：最近、会社の電話のモデルを間違えて購入した場合は、正しい電話と交換する必要があります。

ファームウェアの変換

戻すオプションがない場合は、MPPからEnterpriseへの変換、またはその逆の変換を行うことができます。これには、電話機ごとに個別のライセンスを購入する必要があります。

変換を検討する場合は、[\[クラウドアップグレーダー\]](#)をクリックしてください。

変換に関するFAQを表示するには、[ここをクリックしてください](#)。

電話機またはCUCMコールマネージャの一般情報については、次のリンクをクリックしてください。

[Cisco IP 電話マルチプラットフォーム ファームウェア](#)

[Cisco Unified IP Phone](#)

[Cisco Unified Communications Manager\(Call Manager\)](#)